

# シーニックバイウェイ北海道 平成 24 年度 ルート運営活動報告

## ・主な運営活動

---

---

Scenic Byway Hokkaido 2012

平成 25 年 6 月 24 日  
シーニックバイウェイ北海道推進協議会



## 【目 次】

- ◆ 支笏洞爺ニセコルート
- ◆ 大雪・富良野ルート
- ◆ 東オホーツクシーニックバイウエイ
- ◆ 宗谷シーニックバイウエイ
- ◆ 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ
- ◆ 函館・大沼・噴火湾ルート
- ◆ 萌える天北オロロンルート
- ◆ 十勝平野・山麓ルート
- ◆ トカプチ雄大空間
- ◆ 南十勝雄大空間
- ◆ 札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルート

**【概要】** 千歳ウエルカム花ロードは、年間約1600万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、平成15年に(社)千歳青年会議所が中心となり「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する活動として今年で10年目を迎えた。小学校、地域企業、市民ボランティア、花植え団体、航空自衛隊千歳基地、地域行政機関へと協力連携の輪が広がり、10年間で総勢5千人が参加、20万株を植えた。

10年間の総括となるH24年度は、空港周辺5kmに2万7千株を植栽、更なる継続をめざして、その前後に小学校2校で約130名の児童を対象に花ロード特別授業（活動と地域内外のつながり、郷土の魅力を考えるワークショップ）を実施。さらに、札幌駅前通地下歩行空間でPR特別展示、協力団体等への感謝状贈呈、地域の方々ら150名が参加する一斉除草活動などを実施した。

**【日時】** 札幌駅前通地下歩行空間PR展示：平成24年5月18～25日、花植え：5月29日、花ロード特別授業：5月24日（緑小学校）、7月11日（千歳小学校）、感謝状贈呈式：6月13日、一斉除草：7月27日他

**【場所】** 千歳市（JR南千歳駅周辺、道道千歳インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）

**【主催】** 千歳ウエルカム花ロード実行委員会 **【参加人数】** 植栽415名、授業150名、除草150名ほか



## 1008 453(とや よごさん)キャンペーン

**【概要】** 従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。

**【日時】** 平成24年9月8日(土) 14:30～17:30

**【場所】** 洞爺湖1周(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)

**【主催】** 支笏洞爺二セコルート 洞爺エリア代表 藤盛 元

**【参加人数】** 60名(主催者側58名、一般参加2名)



【概要】ニセコ羊蹄エリアの景観の良い場所にデッキを設置し、ドライブ観光の旅行者に地域の美しい景観を楽しんでいただくとともに、地域の方々との交流・円滑な道路交通に寄与することを目的に、実施した取り組み。地域の団体は設営から撤去までを行うとともに、補修・ペンキ塗りなどの作業、管理を行った。今年度は、当箇所を含め、倶知安町内に3箇所設置した。

【日時】平成24年8月8日（水）

【場所】倶知安町八幡地区、くっちゃんマルシェゆきだるま、小川原脩記念美術館

【主催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【参加人数】約20名



倶知安町八幡地区駐車場



小川原脩記念美術館



くっちゃんマルシェゆきだるま



# 大雪・富良野ルート

A-1

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーン

- 【概要】平成17年度「集中活動月間」の活動としてはじまった「ゴミゼロキャンペーン」は、沿道の清掃活動を広域で連携して実施する活動。平成24年度で8回目の開催。毎年、4月下旬から5月30日までをキャンペーン期間として、旭川や上富良野で関係行政とも連携し、清掃活動を実施。
- 【日時】旭川市西神楽：4月25日（水） 上富良野町：5月13日（日）
- 【場所】旭川市西神楽 上富良野町 国道237号沿道
- 【主催】大雪・富良野ルート
- 【参加人数】約200人



# 大雪・富良野ルート

A-2

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：ウィンターサーカスの開催

- 【概要】第8回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を、ルート内6会場・高速道路会場1会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行った。また、旭川駅と札幌発着のバスツアーなどを実施した。
- 【日時】2月9日～10日 17:00～20:00
- 【場所】旭川市西神楽、東神楽町、美瑛町、上富良野町（2会場）、占冠村、道央道砂川SA
- 【主催】シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会
- 【参加人数】約3000人

西神楽会場（旭川市）



東神楽会場（東神楽町）



見晴台会場（上富良野町）



# 大雪・富良野ルート

A-3

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト  
～旭川から帯広までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

- 【概要】北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を、シーニック4ルートと北海道ガーデン街道協議会、地域が一体となって、上川～十勝間の幹線道路の沿道に植樹し、道路交通環境の向上を図るとともに、訪れる人々に地域の要所、景観の優れた箇所、並木、花壇や庭園を案内し、おもてなしを行う取り組み。第1回目の植樹となる平成24年度は、連携による植樹際を開催。また、東京大学 堀教授を迎えての勉強会等も行った。
- 【日時】全体会議：H24.3月、6月、11月、植樹祭（4箇所）：H24.5月
- 【場所】全体会議：旭川市、帯広市、植樹祭：富良野市、新得町、芽室町、中札内村
- 【主催】大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道
- 【参加人数】全体会議約30名、植樹祭約40名



今後2年間で約200本を植樹



西達布駐車帯 植樹祭【植樹祭時 H=2.5m】



# 大雪・富良野ルート

A-4

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：十勝平野・山麓ルート、上川町と連携した「大雪ぐるっと観光推進」検討会の開催

- 【概要】今年から実施している「大雪山ぐるっと観光推進事業」は、大雪山連峰の山麓地域が連携し、観光の推進を図る取り組み。主要な幹線道路は、総延長約350キロ、関係する自治体は14市町村にもなる壮大な連携である。今年度は、当ルートと十勝平野・山麓ルート、上川町のコアメンバーが中心となり、今後の具体的連携に向けた検討会を行っている。
- 【日時】11月16日、1月30日、3月12日
- 【場所】第1回検討会(鹿追・帯広)、第2回検討会(上川・層雲峡)、第3回検討会(上富良野)
- 【主催】大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、上川町商工会、層雲峡観光協会
- 【参加人数】委員等 10名



ルート名	氏名
大雪・富良野ルート	加藤 祐一氏(上富良野町)
	菊地 晴夫氏(美瑛町)
十勝平野山麓ルート	三井 副成氏(鹿追町)
	野村 恵子(上士幌町)
上川	鎌田康雄(上川町)
	穴戸重之(上川町層雲峡)



- 【概要】 上川中南部道の駅6駅（とうま、あさひかわ、ひがしかわ「道草館」、びえい「丘のくら」、南ふらの、自然体感しむかっぴ）と大雪・富良野ルート、ネクスコ東日本が連携し、シーニックや道の駅などのイベント情報を掲載した地域情報ペーパー（通年・毎月発行）の発行・配布及び上川中南部道の駅スタンプラリー（冬期）を実施している。
- 【日時】 地域情報ペーパー（毎月発行・通年）、スタンプラリー（11月～3月）
- 【場所】 上川中南部道の駅6駅（とうま、あさひかわ、ひがしかわ「道草館」、びえい「丘のくら」、南ふらの、自然体感しむかっぴ）と大雪・富良野ルート、ネクスコ東日本
- 【主催】 大雪・富良野ルート、上川中南部道の駅連携協議会、旭川開発建設部、ネクスコ東日本



活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅2箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催した。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイの取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】平成24年9月9日（日）10：00～14：00「道の駅流水街道網走」  
平成24年9月15日（土）10：00～14：00「道の駅うとろ・シリエトク」  
平成24年9月16日（日）10：00～14：00「道の駅パパスランドさつづる」

【主催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、ウトロ、清里



（右上はパネル展示の様子）→

活動名：シーニックマップVOL.6の作成

【概要】東オホーツクの魅力を多くの方に広めるため「景観・美味しい店・温泉」情報を発信するためのシーニックマップVOL.6を作成した。

【主催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【作成部数】3万部

【配布予定箇所】MAP掲載店・施設等、域内自治体、観光協会、商工会、商工会議所、道の駅等



左上：温泉情報、左下：おすすめ飲食店、右：地図情報面



活動名：電動アシストサイクルレンタルによる域内観光動向の把握

【概要】 マルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施し、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握し、今後の体験メニューの改善等に活用する。

【期間】 平成24年9月～平成25年3月（※実施は9月それ以降は分析、とりまとめ）

【実施場所】 平成24年9月9日（日） 10：00～14：00「道の駅流水街道網走」  
平成24年9月15日（土） 10：00～14：00「道の駅うとろ・シリエトク」  
平成24年9月16日（日） 10：00～14：00「道の駅パパスランドさつる」

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議



↑シーニックPRブースと電動アシストサイクルレンタル受付(ウトロ)

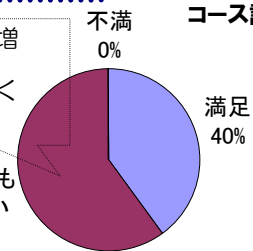


↑流水街道で配布した自転車観光ルート例(網走市観光協会が推奨しているルートに一部加筆)

### 結果概要

ポイント増やして・もっと長く乗りたい

どちらともいえない



立ち寄りポイント・コース設定の満足度

域外参加者は全員マルシェに満足！

- 【概要】 宗谷シーニックバイウェイの一員としての行政が、地域の「暮らしや産業」とマッチングが良く、何より持続可能な取り組みとしての「礼文島リボンプロジェクト」を企画し実行した。取り組みは、バッジ購入という単純なアクションを通じて、誰もが参加できる内容とし、平成23（2011）年度は約340万円、平成24（2012）年度は約485万円の支援を得た。内容は礼文町のHPで公開している（[www.town.rebun.hokkaido.jp/ribon](http://www.town.rebun.hokkaido.jp/ribon)）。「ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2011」ルート審査委員特別賞受賞
- 【日時】 平成24年度内
- 【場所】 礼文島内
- 【主催】 礼文町観光協会



ルールブックのピンとしての活用を予定



個人・団体での参加



- 【概要】 着地型観光のメニューづくりとして、ANA総合研究所と各観光協会連携して体験メニュー作りを実施。ワークショップを通じて地域の方々にご参加いただき、滞在日数の延長やより一層地域を知っていただくプログラム開発として取組んでいる。
- 【日時】 平成24年度内
- 【場所】 稚内市・利尻島・礼文島・猿払村
- 【主催】 稚内観光協会・利尻町観光協会・利尻富士町観光協会・礼文町観光協会・猿払村観光協会（北宗谷広域観光推進協議会）
- 【参加人数】 40名



- 【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。
- 【日時】 平成24年5月12日（土）
- 【場所】 利尻町内一円
- 【主催】 利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会
- 【協力協賛】 利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所
- 【参加人数】 約 100名（主催者側 約 80名、一般参加 約 20名）



- 【概要】 利尻・礼文・稚内において、20～30代の女性をターゲットにした観光資源開発のひとつとして風水におけるパワースポットを調査して宗谷シーニックバイウェイ内の新しい観光スポットとして発掘・広報。
- 【日時】 <準備>平成22年・平成23年 <広報>平成24年6月～
- 【場所】 稚内市・利尻島・礼文島
- 【主催】 稚内観光協会青年部・稚内観光協会・利尻町観光協会・利尻富士町観光協会・礼文町観光協会
- 【参加人数】 風水師 1人、調査・資料づくり 10名





- 【概要】 礼文町観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。  
翌日の利尻島一周マラソン（利尻島悠遊賢人G ※ ゆうゆうらんにくぐ）とも連携して実施している。
- 【日時】 平成24年6月2日（土）
- 【場所】 礼文島内
- 【主催】 最北フラワーマラソン大会実行委員会
- 【協力協賛】 礼文町観光協会・宗谷シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 198名（主催者側 167名（町民）、一般参加 31名（町外参加））



地域イベントとの連携

- 【概要】 坂の下海岸を清掃。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年も稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めたが流木プランターの制作は日程の調整がつかず中止とした。
- 【日時】 平成24年6月3日（日）海岸清掃と流木集め、
- 【場所】 （海岸清掃と流木集め）坂の下海岸  
（流木プランター制作）本年度は中止
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民。
- 【参加人数】 海岸清掃...他 約 420名



- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。昨年からの植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いしたが、参加団体は昨年10団体に対し今年は18団体に増加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。
- 【日時】 平成24年6月10日（土）
- 【場所】 道道稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、みなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか
- 【参加人数】 約 150名（主催者側 約 20名、一般参加 約 130名）



- 【概要】 日本最北端の稚内市は、再生エネルギーの街として風力発電・メガソーラー発電の街として、平成24年には環境都市宣言をしています。利尻礼文サロベツ国立公園を有する最北エリアは、自然環境に恵まれ、その環境に優しいエネルギーの街としてPRするために、電気自動車で日本縦断を果たしました。
- 【日時】 平成24年8月17日～9月7日
- 【場所】 枕崎市～稚内市
- 【主催】 稚内青年会議所・未来のくらしと宗谷路（ネットワーク）を考える会・稚内市・稚内観光協会
- 【参加人数】 80名



8月17日（金）	枕崎市～熊本市	224km
8月18日（土）	熊本市～福岡市	113km
8月19日（日）	福岡市～山口市	150km
8月20日（月）	山口市～広島市	139km
8月21日（火）	広島市～松山市	186km
8月22日（水）	松山市～高知市	119km
8月23日（木）	高知市～徳島市	157km
8月24日（金）	徳島市～大阪市	148km
8月25日（土）	大阪市～津市	114km
8月26日（日）	津市～名古屋市	76km
8月27日（月）	名古屋市～静岡市	184km
8月28日（火）	静岡市～東京都	177km
8月29日（水）	東京都～太田市	82km
8月30日（木）	太田市～会津若松市	199km
8月31日（金）	会津若松市～新潟市	115km
9月1日（土）	新潟市～にかほ市	207km
9月2日（日）	にかほ市～秋田市	68km
9月3日（月）	秋田市～青森市	197km
9月4日（火）	青森市～函館市	119km
9月5日（水）	函館市～札幌市	254km
9月6日（木）	札幌市～旭川市	134km
9月7日（金）	旭川市～稚内市	247km





- 【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。
- 【日時】 平成24年8月19日（日）11:00～16:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【共催】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー
- 【後援】 宗谷地区港湾工事安全連絡協議会
- 【協賛】 NPO法人北海道みなとの文化振興機構、社団法人寒地港湾技術センター、他
- 【参加人数】 約 3,500名（主催者側 約 50名、一般参加 約 3,450名）（※他のイベント等からの流れもあり）



- 【概要】 映画「北のカナリアたち」のロケ地となった利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町・稚内市において、新しい観光資源としてロケ地跡や縁の地をベースに商業界と連携を図り宗谷シーニックバイウェイ内の新しい観光へお取り組みとして調査・研究。
- 【日時】 平成24年8月～平成25年2月
- 【場所】 稚内市・利尻島・礼文島・豊富町
- 【主催】 稚内商工会議所、稚内観光協会、利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町 各観光協会および商工会
- 【参加人数】 25名





## 日本海VSオホーツク海グルメバトル2012 ～Sea級グルメグランプリ～

- 【概要】 日本最北端の稚内市宗谷岬は、宗谷海峡を境とする日本海とオホーツク海に面する海産物の宝庫。この二大海の新鮮な海の幸を食材としたSea級グルメグランプリを開催。来場者は各Sea級グルメを食べ、最もオリジナリティに優れたグルメを1品選びグランプリを決定。同時に大鍋販売を実施
- 【日時】 平成24年9月22日（土）・23日（日）
- 【場所】 JR稚内駅前広場
- 【主催】 北防波堤グルメまつり実行委員会
- 【主管・共催】 稚内観光協会・稚内観光協会青年部・稚内商工会議所女性会・稚内信用金庫・稚内中央商店街振興組合
- 【参加人数】 約 5,900名（2日間の合計来場者数）  
～内、主催者側延べ 50名、一般参加延べ 約 5,850名



## 宗谷らしい道路景観の検討

- 【概要】 宗谷らしい道路景観形成について、景観に配慮した道路附属施設の整備・改善策の策定のために住民参加による現地検証（景観診断）をし、更に「宗谷らしい道路景観」を考えるため、管内を走行するドライバーの方々に快適で“再び訪れたい”気分させるドライブ環境整備に向けた意見交換を実施した。
- 【日時】 （現地検証）平成24年10月24日（水） 13:00～17:00  
（意見交換）平成25年1月28日（月） 13:30～15:30
- 【場所】 （現地検証）国道40号、及び238号 沿道  
（意見交換）稚内合同庁舎 3階会議室
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部
- 【参加人数】 （現地検証）10名（一般参加）／（意見交換）7名（一般参加）



現地検証の様子



意見交換の様子



- 【概要】冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験（主にちびっ子相手）を楽しんで貰う。
- 【日時】平成25年2月2日（日）11:00～14:00
- 【場所】稚内副港市場駐車場
- 【主催】稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】約300名（主催者側約30名、一般参加約270名）



- 【概要】稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年で10年の節目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、稚内青年会議所主催の「みなみなまつり」との同一会場での連携開催となり、来場者数も年々増加。連携7年目を向え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時開催するなど、各々で特色を持ち始めた。
- 【日時】平成25年2月9日（土）13:00～21:00
- 【場所】稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、など
- 【参加人数】準備約70名（主催者側約15名、他協力約55名）、来場者約800名（一般参加）

